

水稲用育苗培土

## くみあい軽良培土成苗用

包装：20kgポリ袋 500kgフレコン

### ◆特 長

- 軽良培土成苗用は粉粒状で成苗ポット、ポットシート及び型枠用に適した培土です。pHは育苗に適した4.5～5.0に調整してあり、は種プラントの適応性に優れています。

### ◆肥料成分添加量（g）

肥料成分	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO
1 kg 当たり（約）	0.37	0.74	0.59	0.14
1 箱 当たり（約）	0.5	1.0	0.8	0.2

### ◆1袋からとれる箱数（目安）

用途	箱数/20kg	箱数/500kg
床土のみ使用	約15.5箱	約387.5箱

### ◆使用法（みのる式成苗ポットの場合）

- ①成苗ポットに培土をすり切りまで詰めます。
- ②掻き取りブラシで深さ2mmになるよう掻き取って下さい。
- ③培土を十分な深さまで鎮圧します（9mm程度が望ましい深さです。鎮圧が不十分だと、覆土が浅くなり根上りを起こす原因となります）。
- ④消毒した催芽粉を1穴当たり2～3粒ずつ、は種して下さい。
- ⑤覆土は、粒状ふくど、軽良培土かけ土用またはpHを4.5～5.0に調整した慣行土（苗代土、山土等）を、箱面すり切りまで覆土して下さい。
- ⑥かん水は成苗ポットの底まで、十分水がしみるまで（1箱当たり約1.2ℓ程度）行って下さい。

※他の育苗形式については、各様式の手順に従って一連の作業を行って下さい。

### ◆使用上の注意

- 健苗育成及び苗立枯病防除にタチガレン剤やタチガレエースM剤を使用し、かびの防除は防除基準に従って適正に行ってください。
- 置床から養分を吸収しますので、置床のpHの矯正、施肥、タチガレエースM剤などの施用が必要です。
- 育苗中はかん水の過不足に注意し、適正な水管理を行ってください。（成苗ポットは乾きやすいので、かん水には十分注意して下さい）。
- 水分が高いので冬期凍結することがありますが、ご使用の場合は早めに、暖かいハウス等に搬入し解凍してご使用下さい。
- 堆積による圧縮、固結等が生じた場合は、ほぐしてからご使用下さい。
- その他の注意事項は600ページを参照して下さい。

※詳しい使い方については、地区農業技術指導機関または農協にご相談下さい。